

社会に生きる私たち



公共の学びを深めるところ Think🗨️…考えるコーナー(5分~10分) / Work📝…作業するコーナー(10分~20分)

(i) 公共で学ぶこと



私たちは、何かしらの集団の一員として生活しており、広い意味で言えば社会の一員として生きている。

「よりよい社会を作るために、私たちに何ができるか？」この問いを考えていくことこそが公共の学びである。

この目標を達成するため、この授業では**生徒自身で考える時間**を積極的に取っていきたいと考えている。

Think🗨️と書いてあるコーナーでは、自分自身で考えを深め、それを文章にまとめたり意見として発表する。

Work📝と書いてあるコーナーでは、考えを発表し合ったり、議論を重ねる作業をしていく。

受け身になるのではなく、積極的に授業に参加しよう。頭をフル回転させるような問いかけを準備していきます！

■ 公共を考える視点

公共を考えるうえで、重要となる4つの視点をまとめよう

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | … 人により多様な幸福をどのように認めていくべきか |
| 2 | … 不当な制約を受けることなく、自ら望む選択ができるためにどうすべきか |
| 3 | … 社会に広く通用する「正しいこと」の基準を考える |
| 4 | … 人々の幸福・自由・正義を両立させるために必要な考え方 |

■ 公共的な空間とは

column📖 公共的な空間の起源は「コーヒーハウス」？

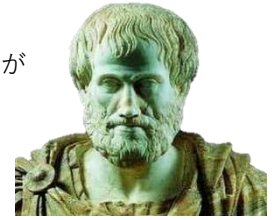
みんなのことをみんなで考えようとする公共的な空間は、17~18世紀に英・仏・独などで流行した「コーヒーハウス」が起源ではないかと言われている。いわば喫茶店のようなものが初めて登場したのが1652年のロンドン。ここが大人の社交場として認知され、多くの人々が交流する場として発展した。時には政治について熱い討論を繰り広げる場となり、商業に関する話も活発に行われた。交流の延長で政党や企業が生まれ、社会に欠かせないシステムが構築されていったようだ。特筆すべきはお金を払えば誰でも利用できたこと。上流社会と下流社会の線引きが根強く、両者の関わりがなかった時代において、誰でも利用できるコーヒーハウスは異質であり、政治だけでなく、文学や演劇、ファッションなど様々なテーマについて身分や立場の垣根を超えて談義できる場所であった。





「人間は^[6]動物である」(『政治学』)

動物のうちで人間だけが「言論(言葉)」を有し、有益なものや正しいものを明らかにすることができる。この知性をもって共同生活をし、社会や国家を作る。他人との協働を必要とせず自足できる者は、獣か神である。



(1906-1975) ドイツの哲学者

画一的な経済活動により、人々の社会への関心を失わせ、違いを主張することが失われた。
 公共的な空間とは、多様性や差異に価値を見出すものであり、
 どうな時も^[8]]することが人間の尊厳を取り戻す方法だと考えた。

Work👉 校則の違和感について議論してみよう

この教室の共通点は、皆がこの学校の生徒であるということ。今回は学校の「校則」を取り上げ、そのテーマについて議論する。身近で話しやすいことから、議論のトレーニングをしていこう。

議論の注意点 「みんなが好きのように主張し合うだけ」これは議論とは呼べない。以下の点に注意しよう。

- ・相手の主張を **まず受け入れる** こと … 頭ごなしに否定せず、気になった点は理由を深掘りしてみよう
- ・自分の主張を整理して、**理論的**に伝える … 「〇〇だからこう思う」「〇〇という理由で反対する」など
- ・**多面的な思考**を心がける … メリット・デメリットの両面を考えることで、主張に深みができる

STEP1 グループで取り上げたい校則を1つ決める

(例) 服装 ・ 校外活動 ・ スマホ ・ 運転免許 ・ アルバイト ・ 指導方法 など
 具体的にどんな校則について議論する? → []

STEP2 その校則の意義・改善点などを書き出す

意義(なぜその校則がある)

改善点(その校則の改善点・必要性)

改善の効果(改善した後に期待できること)

STEP3 自分の意見をまとめ、発表する【改善方法+改善する必要性+改善による効果】

STEP4 他者の意見を聞いて議論してみよう→共感できたものや新たに発見したものをメモする

- ・
- ・
- ・
- ・

社会に生きる私たち



公共の学びを深めるところ Think🗨️…考えるコーナー(5分~10分) / Work📝…作業するコーナー(10分~20分)

(i) 公共で学ぶこと



私たちは、何かしらの集団の一員として生活しており、広い意味で言えば社会の一員として生きている。

「よりよい社会を作るために、私たちに何ができるか？」この問いを考えていくことこそが公共の学びである。

この目標を達成するため、この授業では**生徒自身で考える時間**を積極的に取っていきたくと考えている。

Think🗨️と書いてあるコーナーでは、自分自身で考えを深め、それを文章にまとめたり意見として発表する。

Work📝と書いてあるコーナーでは、考えを発表し合ったり、議論を重ねる作業をしていく。

受け身になるのではなく、積極的に授業に参加しよう。頭をフル回転させるような問いかけを準備していきます！

■ 公共を考える視点

公共を考えるうえで、重要となる4つの視点をまとめよう

- | | | |
|---|-----------|-------------------------------------|
| 1 | 幸福 | … 人により多様な幸福をどのように認めていくべきか |
| 2 | 自由 | … 不当な制約を受けることなく、自ら望む選択ができるためにどうすべきか |
| 3 | 正義 | … 社会に広く通用する「正しいこと」の基準を考える |
| 4 | 公正 | … 人々の幸福・自由・正義を両立させるために必要な考え方 |

■ 公共的な空間とは

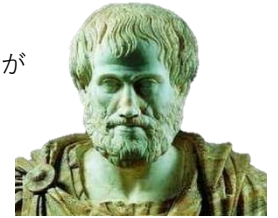
column📖 公共的な空間の起源は「コーヒーハウス」？

みんなのことをみんなで考えようとする公共的な空間は、17~18世紀に英・仏・独などで流行した「コーヒーハウス」が起源ではないかと言われている。いわば喫茶店のようなものが初めて登場したのが1652年のロンドン。ここが大人の社交場として認知され、多くの人々が交流する場として発展した。時には政治について熱い討論を繰り広げる場となり、商業に関する話も活発に行われた。交流の延長で政党や企業が生まれ、社会に欠かせないシステムが構築されていったようだ。特筆すべきはお金を払えば誰でも利用できたこと。上流社会と下流社会の線引きが根強く、両者の関わりがなかった時代において、誰でも利用できるコーヒーハウスは異質であり、政治だけでなく、文学や演劇、ファッションなど様々なテーマについて身分や立場の垣根を超えて談義できる場所であった。



👤⁵ **アリストテレス**] 「人間は⁶ **社会的(ポリスの)**]動物である」(『政治学』)

動物のうちで人間だけが「言論(言葉)」を有し、有益なものや正しいものを明らかにすることができる。この知性をもって共同生活をし、社会や国家を作る。他人との協働を必要とせず自足できる者は、獣か神である。



👤⁷ **ハンナ・アーレント**](1906-1975) ドイツの哲学者

画一的な経済活動により、人々の社会への関心を失わせ、違いを主張することが失われた。
公共的な空間とは、多様性や差異に価値を見出すものであり、
どんな時も⁸ **発話**]することが人間の尊厳を取り戻す方法だと考えた。

Work📌 校則の違和感について議論してみよう

この教室の共通点は、皆がこの学校の生徒であるということ。今回は学校の「校則」を取り上げ、そのテーマについて議論する。身近で話しやすいことから、議論のトレーニングをしていこう。

議論の注意点 「みんなが好きのように主張し合うだけ」これは議論とは呼べない。以下の点に注意しよう。

- ・相手の主張を **まず受け入れる** こと … 頭ごなしに否定せず、気になった点は理由を深掘りしてみよう
- ・自分の主張を整理して、**理論的**に伝える … 「〇〇だからこう思う」「〇〇という理由で反対する」など
- ・**多面的な思考**を心がける … メリット・デメリットの両面を考えることで、主張に深みができる

STEP1 グループで取り上げたい校則を1つ決める

(例) 服装 ・ 校外活動 ・ スマホ ・ 運転免許 ・ アルバイト ・ 指導方法 など
具体的にどんな校則について議論する? → [**スマホ使用禁止について**]

STEP2 その校則の意義・改善点などを書き出す

意義(なぜその校則がある)

依存する人もいるようなツールであり、授業中や休み時間に使用しすぎてしまう恐れがある

改善点(その校則の改善点・必要性)

禁止にしても、スマホと今後付き合うことは変わらないので、正しい使い方を学ばせる方向が望ましいのでは使用は認めるが、授業中とのメリハリはつける。授業中でのスマホ利用が発覚した場合には厳しい指導を行う。

改善の効果(改善した後に期待できること)

自分でスマホの使い方を考えることができる

STEP3 自分の意見をまとめ、発表する【改善方法+改善する必要性+改善による効果】

STEP4 他者の意見を聞いて議論してみよう→共感できたものや新たに発見したものをメモする

- ・ **せっかく友人が周りにいる環境なので、1人の時間になるスマホは使用しないままがよい**
- ・ **授業時間での使用を推奨し、正しく使いこなせるような指導を実施する**